

北海道高等学校学力向上実践事業 授業実践講座

教科指導講座報告

**道南ブロック
地理歴史・公民科**
平成31年1月24日
(主管教育局 日高教育局)

平成30年11月5日(月)、北海道登別青嶺高等学校において、「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善」をテーマに授業実践講座(教科指導講座)を開催しました。道南地方(胆振、日高、渡島、檜山)の各管内から17名の教員の参加がありました。本講座の実施概要を紹介します。

教科指導講座の概要

テーマ：「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

1 説明 新学習指導要領の改訂を踏まえて

学習指導要領の改訂内容を確認し、地理歴史科・公民科は、社会的な見方・考え方を働かせる「問い」を中心に授業を構成することの大切さを参加者全員で共有

2 授業研究

◆ 日本史B 北海道登別青嶺高等学校 柳澤 久志 教諭



対象：3年生(必修)

単元：2つの世界大戦とアジア(軍部の台頭)

各参加者が、どんな問いを立てたらよいのかを考え授業を参観し、授業後に時系列による振り返りとワークショップによる協議を実施

時系列による振り返り



ワークショップによる協議



3 実践発表 5名のスペシャリストから授業実践の発表

◆ 世界史 寺沢 英幸 教諭
◆ 日本史 干場 大輔 教諭
◆ 地理 石崎 洋志 教諭

◆ 現代社会 宮澤 護 教諭
◆ 倫理 黒津 豊輝 教諭

※ 各実践発表の紹介は2頁に掲載しています

4 研究協議

科目別のグループを編成し、中心となる「問い」を立て授業案を作成

本講座の実施により期待される成果

授業改善の在り方や課題を参加者で共有し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組を一層促進するとともに、各学校における授業研究等の教職員の研修の充実、北海道高等学校学力向上実践事業における研究の充実に資する。

授業実践講座の実施状況

実践発表①「世界史」

北海道登別明日中等教育学校 寺沢 英幸 教諭

「知識」と「思考力・判断力・表現力」を車の両輪に例え、バランス良くはぐくむ授業展開の例や、主体的・対話的で深い学びのベースとなる「問い」の立て方を紹介いただきました。



実践発表②「日本史」

北海道函館稜北高等学校 干場 大輔 教諭

大学入試の論述問題を活用したグループワークの取組、実物教材や歴史史料を活用して技能を高める指導の在り方を実際に用いた評価問題も含めて紹介いただきました。



実践発表③「地理」

北海道函館稜北高等学校 石崎 洋志 教諭

地理Bを通じて育成を目指す資質・能力を明確化させるルーブリックを紹介いただくとともに、ICT機器や地図を活用し、深い思考を促す授業実践を紹介いただきました。



実践発表④「現代社会」

北海道室蘭工業高等学校 宮澤 護 教諭

地下鉄サリン事件等に関わる一連の判決を題材に、周囲の大人への取材や関係資料を通じ、「死刑制度」について主体的に考察し、結果を発表させる授業実践を紹介いただきました。



実践発表⑤「倫理」

北海道浦河高等学校 黒津 豊輝 教諭

「問い」を立て、思考の方向性に枠を示しながら、得た知識をもとに話ができる（活用ができる）力をはぐくむグループワークの在り方や授業実践を紹介いただきました。



授業実践講座参加者の声

参加者の声

- とても参考になりました。地理歴史・公民科の授業は楽しいと久し振りに感じました。
- 授業改善に向けた次の一歩を踏み出すためのアイデアと意欲をいただきました。
- 勉強になるとともに、非常におもしろかったです。
- 各スペシャリストの実践発表を聞いて、大変刺激をいただきました。

参加者アンケートの結果（一部）

- 紹介した教材や指導方法は活用できるか
 - ・大いに活用できる 41.2 %
 - ・活用できる 58.8 %
- 授業実践力の向上に役立つか
 - ・大いに役立った 41.2 %
 - ・役立った 58.8 %

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

<日高教育局ウェブページURL >

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hdk/koukouhann/top.htm>